

# 2004年3月期 中間決算説明会

2003年11月26日(水)

CKD株式会社 取締役社長 神田草平

# 説明会のスケジュール

## 中間決算の概要説明

- 1、2004年3月期 中間決算の概要
- 2、新たなる挑戦
- 3、セミコン ジャパン2003のご案内

## 質疑応答

# 1、中間決算の概要 (1)

平成 16年 3月期

中間決算短信(連結)

平成 15年 11月 19日

## 1. 15年 9月中間期の連結業績(平成 15年 4月 1日 ~ 平成 15年 9月 30日)

### (1)連結経営成績

(単位:百万円未満切捨)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
15年 9月中間期	31,091	9.8	1,391	83.3	1,218	85.3
14年 9月中間期	28,311	12.7	759	49.2	657	54.7
15年 3月期	58,114		1,997		1,765	
前年同期比	+ 2,779 百万円		+ 632 百万円		+ 560 百万円	

	中間(当期)純利益		1株当たり中間 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当 たり中間(当期)純利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
15年 9月中間期	531	77.4	8.93	8.30
14年 9月中間期	2,356	291.6	37.16	33.99
15年 3月期	2,657		41.89	38.53
前年同期比	1,824 百万円		28.23 銭	25.69 銭

14年9月中間期 厚生年金基金代行部分返上益 2,260百万円

## 2. 16年 3月期の連結業績予想(平成 15年 4月 1日 ~ 平成 16年 3月 31日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
通 期	66,000	4,000	2,000
前期比	+ 7,886 百万円 + 13.6%	+ 2,235 百万円 + 126.6%	657 百万円 24.7%

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 34円31銭

厚生年金基金代行部分返上益

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

# 1、中間決算の概要 (2)

## (2)連結財政状態

	総資産 百万円	株主資本 百万円	株主資本比率 %	1株当たり株主資本 円 銭
15年 9月中間期	61,329	23,185	37.8	397.69
14年 9月中間期	64,533	24,711	38.3	391.22
15年 3月期	61,203	23,645	38.6	393.08

(注)期末発行済株式数(連結) 15年 9月中間期 58,300,344 株 14年 9月中間期 63,166,207 株 15年 3月期 60,041,883 株

前年同期比	3,203 百万円 5.0%	1,526 百万円 6.2%	0.5%	+ 6円.47銭 + 1.7%
	<b>有形固定資産、繰延税金資産の減少</b>	<b>自己株式の取得</b>		
前期比	+ 126 百万円 + 0.2%	460 百万円 1.9%	0.8%	+ 4円.61銭 + 1.2%

## (3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー 百万円	投資活動による キャッシュ・フロー 百万円	財務活動による キャッシュ・フロー 百万円	現金及び現金同等物 期末残高 百万円
15年 9月中間期	389	408	1,309	4,135
14年 9月中間期	5,479	350	3,739	5,874
15年 3月期	9,067	834	7,351	5,367

### 当中間期の内訳

営業活動CF		投資活動CF		財務活動CF	
・税前純利益	+ 1,075 百万円	・有形固定資産取得	457 百万円	・借入金返済	183 百万円
・減価償却費	+ 1,035 百万円	・その他	+ 49 百万円	・自己株式取得	855 百万円
・売上債権増加	1,829 百万円	計	408 百万円	・配当金支払	270 百万円
・その他	+ 108 百万円			計	1,309 百万円
計	+ 389 百万円				

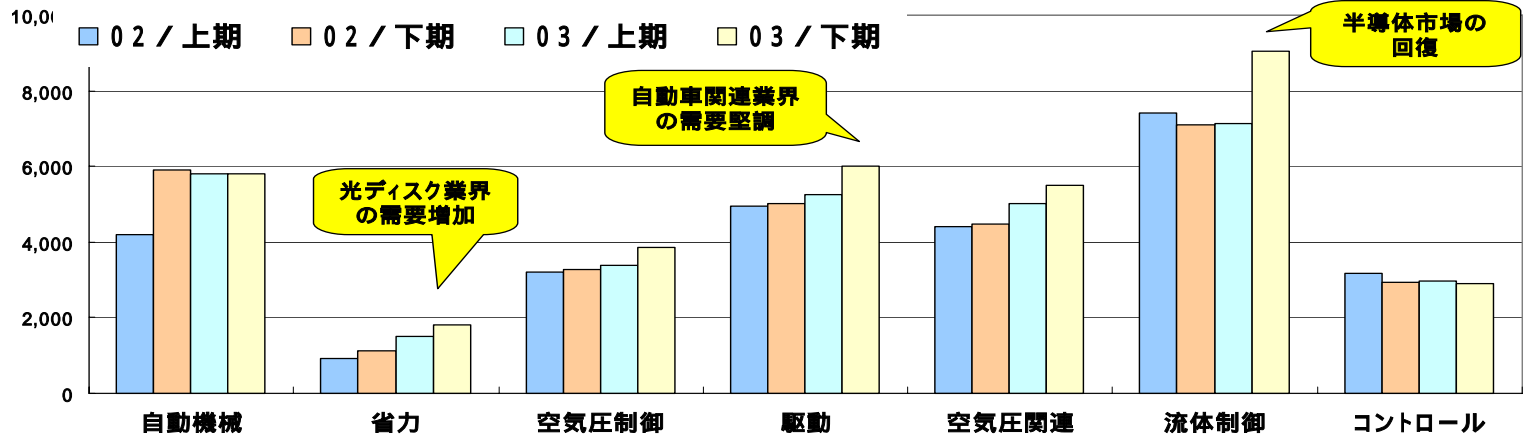
## (5)連結範囲及び持分法の適用の異動状況

連結(新規) 2社 **CKD上海、CKD韓国** (除外) 0社 持分法(新規) 0社 (除外) 0社

# 1、中間決算の概要 (3) 機種別 売上高の推移

(単位: 百万円)

機種	期別	02 / 上期	02 / 下期	03 / 上期	前上期対比		03 / 下期	当上期対比	
		実績	実績	実績	増減金額	率	予想	増減金額	率
自動機械装置		4,215	5,906	5,808	+ 1,592	+ 37.8%	5,800	8	0.1%
		照明製造機の増加			薬品包装機の増加				
省力機器		913	1,131	1,516	+ 603	+ 66.0%	1,800	+ 284	+ 18.7%
空気圧制御機器		3,224	3,265	3,368	+ 144	+ 4.5%	3,850	+ 482	+ 14.3%
駆動機器		4,958	5,003	5,268	+ 310	+ 6.2%	6,000	+ 732	+ 13.9%
空気圧関連機器		4,414	4,470	5,021	+ 607	+ 13.8%	5,500	+ 479	+ 9.5%
流体制御機器		7,405	7,103	7,142	263	3.6%	9,059	+ 1,917	+ 26.8%
機器製品計		20,914	20,972	22,314	+ 1,400	+ 6.7%	26,209	+ 3,895	+ 17.5%
コントロール機器		3,182	2,925	2,969	212	6.7%	2,900	69	2.3%
合計		28,311	29,803	31,091	+ 2,779	+ 9.8%	34,909	+ 3,818	+ 12.3%



# 1、中間決算の概要 (4) 連結損益計算書 - 実績と予想

(単位:百万円)

期別 科目	02年度 上期実績		02年度 下期実績		03年度 上期実績		前上期対比		03年度 下期実績		当上期対比	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比	増減金額	比率	金額	百分比	増減金額	比率
売上高	28,311	100.0	29,803	100.0	31,091	100.0	+ 2,779	109.8	34,909	100.0	+ 3,818	112.3
売上原価	20,918	73.9	21,755	73.0	22,752	73.2	+ 1,834	108.8	24,798	71.0	+ 2,045	109.0
売上総利益	7,393	26.1	8,047	27.0	8,338	26.8	+ 945	112.8	10,112	29.0	+ 1,774	121.3
販売費及び一般管理費	6,633	23.4	6,810	22.9	6,947	22.3	+ 313	104.7	7,203	20.6	+ 255	103.7
営業利益	759	2.7	1,238	4.2	1,391	4.5	+ 632	183.1	2,910	8.3	+ 1,519	209.2
営業外収益	188	0.7	162	0.5	113	0.4	75	60.3	123	0.4	+ 9	108.3
営業外損失	290	1.0	292	1.0	286	0.9	4	98.5	250	0.7	36	87.3
経常利益	657	2.3	1,108	3.7	1,218	3.9	+ 560	185.4	2,782	8.0	+ 1,565	228.5

## 当期実績の経常利益増加の要因

### (1) 売上高の増減による利益変化

(自動機)	+ 419	(自動機)	2
(機器他)	+ 307	(機器他)	+ 1,026

### (2) 売上原価率の増減による利益変化

(自動機)	+ 239	(自動機)	+ 69
(機器他)	+ 29	(機器他)	+ 681

### (3) 販管費の増減による利益変化

313 255

### (4) 営業外損益の増減による利益変化

70 + 46

計

+ 560 + 1,565

# 1、中間決算の概要 (5)

## 固定費、変動費率および売上高の推移

(単位:百万円)

	02/上実績	02/下実績	03/上実績	前上期対比	03/下予想	当上期対比
<b>1、固定費</b>						
人件費	10,030	10,231	10,546	+ 516	11,250	+ 704
経費	5,721	6,085	6,091	+ 370	6,700	+ 609
計	15,751	16,316	16,636	+ 886	17,950	+ 1,314
前期比	100.4%	103.6%	102.0%		107.9%	
<b>2、材料費率</b>	41.3%	40.5%	41.7%	+ 0.5%	40.5%	1.2%
<b>3、売上高</b>	28,311	29,803	31,091	+ 2,780	34,909	+ 3,818
前期比	106.0%	105.3%	104.3%		112.3%	
<b>4、損益分岐点</b>	26,812	27,430	28,549	+ 1,737	30,161	+ 1,611
<b>5、差額 (3 - 4)</b>	+ 1,499	+ 2,373	+ 2,542	+ 1,042	+ 4,748	+ 2,207

# 1、中間決算の概要 (6) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	前中間期 (14.4.1 ~ 14.9.30)	当中間期 (15.4.1 ~ 15.9.30)	前 期 (14.4.1 ~ 15.3.31)
		金 額	金 額	金 額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
税金等調整前中間(当期)純利益		2,945	1,075	3,565
減価償却費		1,141	1,035	2,353
貸倒引当金の増減額(減少: )		94	35	120
退職給付引当金の増減額(減少: )		2,137	126	2,282
受取利息及び受取配当金		28	29	37
支払利息		152	112	276
投資有価証券評価損		-	-	375
有価証券売却損		-	-	-
固定資産処分損		59	88	72
固定資産売却益		1	3	5
売上債権の増減額(増加: )		391	1,829	1,772
たな卸資産の増減額(増加: )		164	205	507
仕入債務の増減額(減少: )		2,673	481	2,314
未払消費税等の増減額(減少: )		20	43	7
その他		473	707	690
小計		5,720	633	9,490
利息及び配当金の受取額		28	29	38
利息の支払額		148	115	282
法人税等の支払額		121	157	179
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>5,479</b>	<b>389</b>	<b>9,067</b>



# 1、中間決算の概要 (7) 連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	(単位:百万円)			
	期 別	前中間期 (14.4.1 ~ 14.9.30)	当中間期 (15.4.1 ~ 15.9.30)	前 期 (14.4.1 ~ 15.3.31)
		金 額	金 額	金 額
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
有価証券の売却による収入	-	8	-	
投資有価証券の取得による支出	41	1	65	
投資有価証券の売却による収入	4	16	28	
<b>有形固定資産の取得による支出</b>	435	457	754	
有形固定資産の売却による収入	122	54	113	
子会社株式の取得による支出	-	28	161	
その他	0	0	5	
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	350	408	834	
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
短期借入金純増減額(減少: )	453	1	1,368	
長期借入れによる収入	300	-	1,140	
長期借入金の返済による支出	2,728	182	4,937	
転換社債の買入消却による支出	386	-	386	
自己株式(単元未満株式等)の純増減額(増加: )	2	1	9	
<b>自己株式の取得による支出</b>	136	854	1,157	
親会社による配当金の支払額	285	270	570	
少数株主への配当金の支払額	47	-	61	
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	3,739	1,309	7,351	
現金及び現金同等物に係る換算差額	77	3	77	
<b>現金及び現金同等物の増減額(減少: )</b>	1,311	1,324	804	
現金及び現金同等物の期首残高	4,563	5,367	4,563	
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加	-	92	-	
<b>現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高</b>	5,874	4,135	5,367	

# 1、中間決算の概要 (8) 事業の種類別セグメント情報

前中間期(平成14年4月1日 ~ 平成14年9月30日)

(単位:百万円)

	自動機械 部 門	機器部門	コントロールズ 部 門	計	消去又は全社	連 結
. 売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,215	20,914	3,181	28,311	-	28,311
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	32	147	17	197	(197)	-
計	4,247	21,062	3,199	28,509	(197)	28,311
営業費用	3,856	19,622	3,022	26,500	1,051	27,551
営業利益	390	1,440	177	2,008	(1,249)	759

当中間期(平成15年4月1日 ~ 平成15年9月30日)

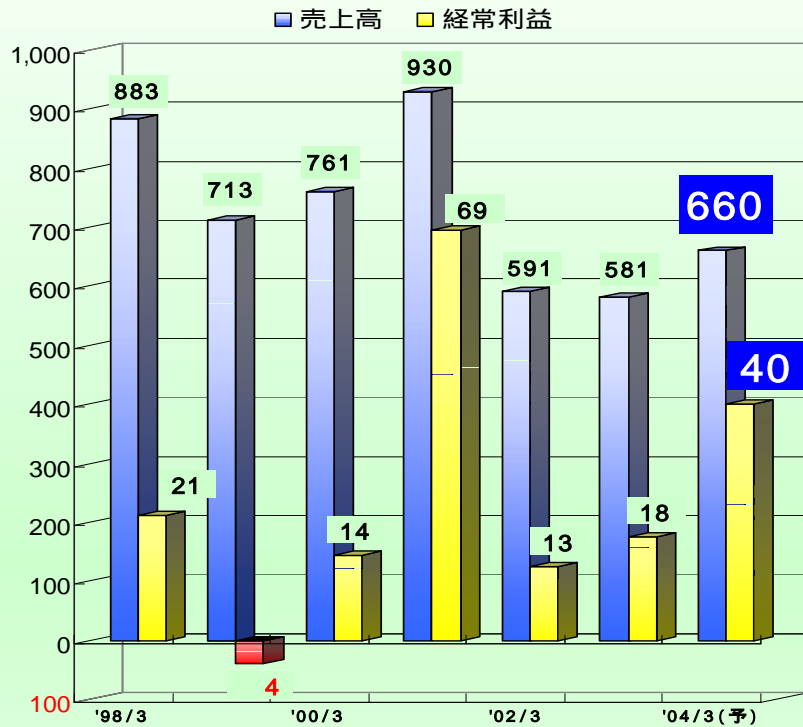
(単位:百万円)

	自動機械 部 門	機器部門	コントロールズ 部 門	計	消去又は全社	連 結
. 売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,807	22,314	2,969	31,091	-	31,091
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	32	92	78	203	(203)	-
計	5,840	22,406	3,047	31,294	(203)	31,091
営業費用	4,923	20,842	2,801	28,568	1,131	29,699
営業利益	916	1,563	246	2,726	(1,334)	1,391

前年同期比 売上高	+ 1,593 (+ 37.5%)	+ 1,344 (+ 6.4%)	152 ( 4.8%)	+ 2,785 (+ 9.8%)
営業利益	+ 526 (+ 134.9%)	+ 123 (+ 8.5%)	+ 69 (+ 39.0%)	+ 718 (+ 35.8%)

## 2、新たな挑戦

### 海外を視野に入れた事業展開と商品力の強化



(単位: 百万円)

	02/3実績	03/3実績	04/3予想
売上高	59,132	58,114	66,000
前年比	63.6%	98.3%	113.6%
国内売上高	52,770	51,608	56,000
前年比	71.9%	97.8%	108.5%
海外売上高	6,362	6,506	10,000
前年比	32.4%	102.3%	153.7%

### (1) 過去の挑戦

目標 ・収益構造の変革 (売上高/経常利益)  
 (99年3月期) (04年3月期)  
 713億円/ 4億円 660億円/40億円

・財務体質の改善 (有利子負債)  
 (99年3月期) (04年3月期)  
 372億円 151億円 221億円

思想 「分散から集中へ、成長から効率へ」

結果としての縮小均衡 (売上高)  
 (01年3月期) (04年3月期)  
 930億円 660億円 29%

### (2) 新たな挑戦 – 成長戦略を視野へ

既存商品での販路拡大

・新営業体制

・海外展開

新商品での売上拡大

・成長分野での拡大

## 2、新たな挑戦（海外施策の狙い）

### 販売

- ・ **中国 CKD上海の設立（2001年10月）**  
本格的な販売活動を開始、成長市場における自前の販売チャネルの整備。
- ・ **韓国 CKD韓国の設立（2002年8月）**  
半導体と自動車を中心とした市場の開拓と深耕。
- ・ **北米 CKD USAの事業拡大**  
半導体を中心にした現地企業の攻略と日系企業へのサービス活動の強化。
- ・ **欧州 主要代理店の育成強化**  
主要国での市場開拓と日系企業へのサービス活動体制の整備。

### 生産

- ・ **CKD中国の設立（2003年1月2日 設立）**  
全世界へ商品供給をするグローバル生産拠点。
- ・ **タイ 生産拡大**  
冷凍式ドライアの現地生産に続き小型チラ - の生産準備。
- ・ **台湾・マレーシア 有効活用**  
自動機械やエアーシリンダなど特定機種 of 現地生産。

## 2、新たなる挑戦

## 開発施策の狙い(1)

### 医療・医薬業界

エコブリスタ

FBP - 600E

2003年10月21日発売



地球規模での取り組みとなっている環境負荷低減という課題に対し、これまでに培ってきた高い品質と扱い易さに更に磨きをかけ、包装機械メーカーとしてお客様に「対環境」をいかにご提案できるか、全く新しいコンセプトと技術を持って開発した薬品包装装置

## 2、新たなる挑戦

## 開発施策の狙い(2)

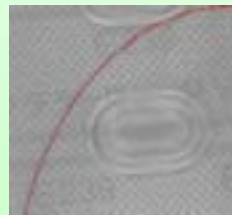
### 医療・医薬業界

#### ・フラッシュパトリ(新型パトリ)

新型PTPに内蔵できる操作性の良い検査装置

カメラ、照明、画像装置、Windowsといった

構成要素を一体化した総合検査装置システムPP  
ルム対応で、エリアタイプのメガピクセルCCDにより  
鮮明な検査が可能。



### 半導体業界



#### ・VP1000

新開発のカラー位相シフト方式を開発・採用し、  
従来機(VIP400)に比べて測定スピードを2倍  
高速化した**高速3次元はんだ印刷検査機**。

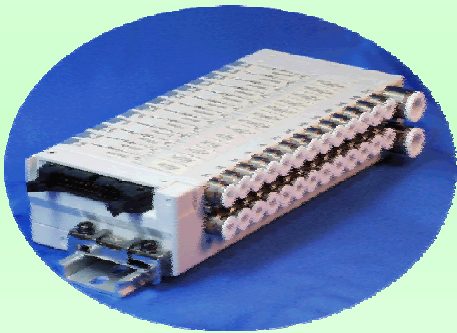
「液晶シャッター方式」と比べ、画像の立体  
処理に必要な撮影回数を三分の一以下に低減、  
測定時間を大幅に短縮した。

## 2、新たなる挑戦 開発施策の狙い(3)

### 半導体業界

#### ・クリーンフィルタ FCS50 (インラインフィルタ)

禁油仕様でクリーンルーム内での組立・検査・包装までの一貫生産。継手内蔵のコンパクトサイズで 80L/minの大流量の確保。高ろ過精度(0.01 $\mu$ m, 除去効率99.99%)



#### ・小型電磁弁MN4E0

半導体前工程市場への小型化・高性能化を狙いの電磁弁。2002年4月15日より発売開始

#### ・小型流量センサ

高い応答性と省スペースを実現する超小型ガス流量センサ。空気、窒素などの非腐食性ガス、不活性ガス用として吸着確認目的やリークチェック用途、分析機器への応用としてのセンサ。





## 2、新たなる挑戦 開発施策の狙い(4)

### フラットディスプレイ分野

#### ・不活性ガス循環精製装置(開発)

ガス・リサイクル装置の小型・高性能化要求に対応する為、モジュール方式の不活性ガス循環精製装置を開発。

電子機器の信頼性向上・長寿命化の為、生産ラインの超乾燥安定環境を維持する為、窒素ガスやアルゴンガスの不活性ガス環境をローコストで維持。



#### ・不活性ガス循環精製装置(用途)

有機ELの封止工程・リチウムイオン電池・リチウムポリマー電池の生産工程、HIDランプ(ディスチャージランプ)封止工程・水晶発信子封止工程等、幅広い分野で使用。

市場規模は2～3百億円規模と推定。

有機EL向けからスタートし順次HID、リチウム電池向けに拡大。



### 3、セミコン ジャパン2003のご案内

会 期 : 2003年12月3日(水)～5日(金)

会 場 : 幕張メッセ(国際コンベンションセンター)

出展場所 : ホール5 小間番号 B - 703

コンセプト : 半導体プロセスの進化に応えるCKD

#### 【出展品】

- ・薬液用エアオペイトバルブ
- ・プロセスガス用エアオペイトバルブ
- ・高真空用バルブ
- ・集積化ガス供給システム
- ・真空圧力比例制御システム

